DELCATEC

●このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

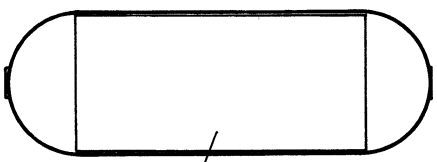
取扱説明書

DXアンテナの製品を正しくご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みください。

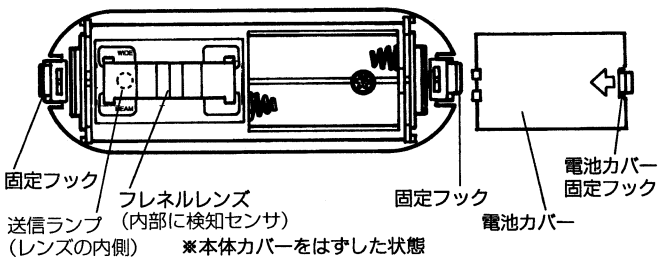
SUPERワイヤレス ビーム/ワイド検知送信部 SHS-350

1 各部の名称

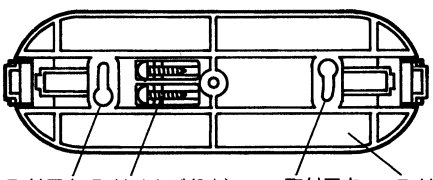
〈正　面〉



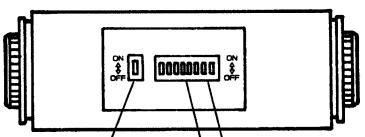
〈本体正面〉



〈底　面〉



〈本体裏面〉

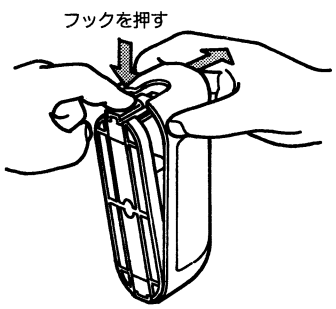


※取付ベースから本体をはずした状態

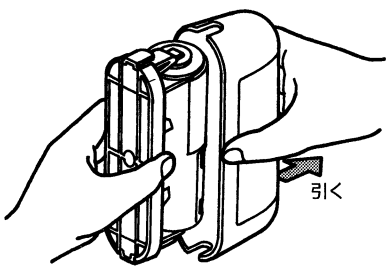
2 使用方法

本体カバーのはずし方

①固定フックを押し、本体カバーを少し引く。
反対側も同じようにする。



②本体カバーを引く。



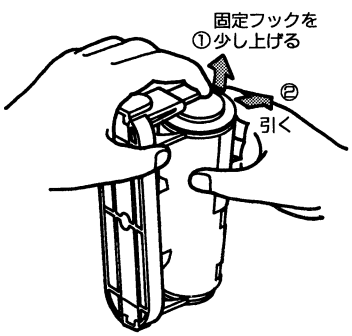
注　意

- **本器に直接雨が降りかかる場所では使用できません。**
- **金属物に取り付けないでください。電波の到達距離が極端に短くなります。**

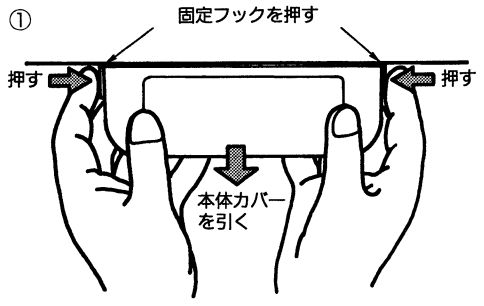
本体のはずし方

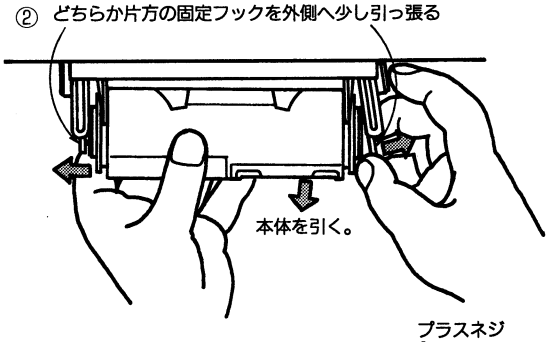
①どちらか片方の固定フックを少し上げる。
※無理に上げるとフックが折れますので注意してください。

②本体を引く。
※フレネルレンズ部分は持たないでください。



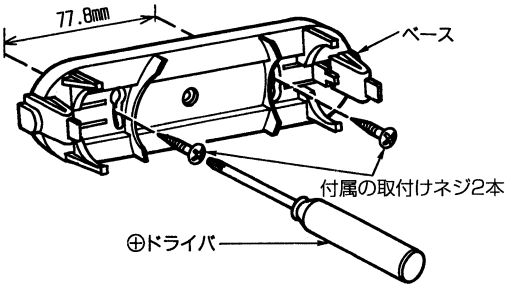
〈既に壁面などに取り付けている場合〉

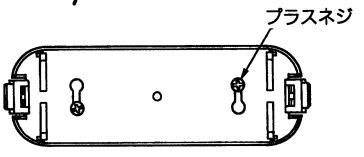




取り付け方

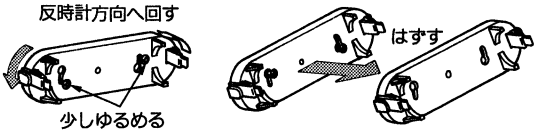
取付けベースを本体よりはずし、付属の取付けネジ2本で取り付けます。



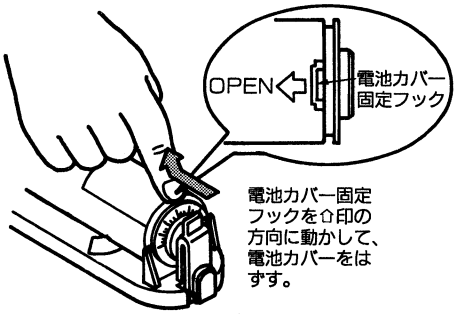


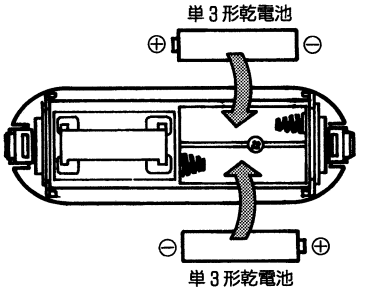
※ネジを少しゆるめて、反時計方向に回すと、簡単にはずすことができます。

取付ベースのはずし方



乾電池の入れ方





乾電池寿命(目安)

- 新品のマンガン乾電池を使用した場合、**1日10回検知動作**をするという条件では、**約1年間**です。

※店舗など来客が非常に多い場所では、長寿命のアルカリ乾電池の使用をおすすめします。

※乾電池は⊕⊖をまちがえないように入れてください。

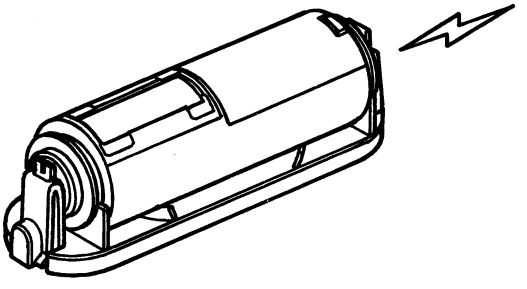
※**受信部**のチャンネル表示ランプが点滅しましたら直ちに乾電池を2本とも新品と交換してください。アルカリ乾電池とマンガン乾電池の混用はしないでください。乾電池の液もれの原因となります。

- 乾電池には使用期限があります。使用の際は、乾電池に記載している使用期限を確認してください。

〈電池交換信号について〉

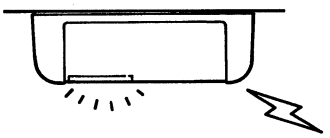
- 新品の電池を正しく入れると自動的に電池交換信号を受信部に送信します。

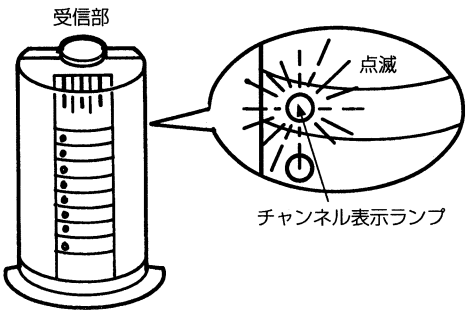
1秒間送信ランプが点灯→2秒間休止→1秒間送信ランプ点灯→通常の送信動作



〈電池切れ表示について〉

①本器の電池が2.5Vより低くなると**1回のみ**自動的に電池切れ信号を**送信**します。
②受信部がこの信号を受信すると、設定したチャンネルの表示ランプが点滅を開始します。(電池切れ表示)
※電池が切れかけた状態での検知動作では電池切れ信号を付加して送信しますので、受信部が仮に①の自動電池切れ信号を受信できなくても、電池切れ表示を開始します。(但し、電池切れの状態で使用しますと、数回は送信動作しますが、その後動作しなくなり、更にそのまま放置しますと電池が液漏れをおこします。)
③直ちに本器の電池を2個とも新品に交換してください。
④新品電池に交換すると**1回のみ**自動的に電池交換信号を**送信**します。
⑤受信部がこの信号または本器の検知動作の送信信号を受信すると、点滅が終了し通常動作になります。

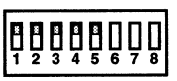




グループIDスイッチの設定

本器のグループIDスイッチ(スイッチNo.1～5)と、本器と組み合わせて使用する受信部の**グループIDスイッチは必ず同じ設定**にしてください。違っていますと動作しません。

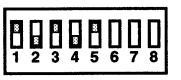
例えば
その1



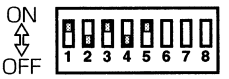
本器の
グループIDスイッチ

受信部の
グループIDスイッチ

その2



本器の
グループIDスイッチ



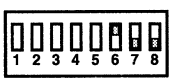
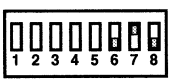
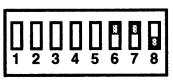
受信部の
グループIDスイッチ

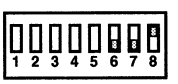
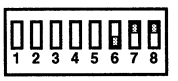
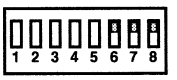
※グループIDスイッチの組み合わせは、左図の組み合わせを含めて32通りあります。
※となり近所で同じスーパーワイヤレスシリーズが設置されますと混信して誤動作することがあります。このような場合はグループIDスイッチの組み合わせを変えれば解決できます。

チャンネルスイッチ

本器のチャンネルスイッチ(スイッチNo.6～8)の設定により組み合わせて使用するスーパーワイヤレスシリーズの受信部の表示チャンネルが選択できます。尚、受信部の報知音(メロディ12曲、固定メッセージ13種類、録音メッセージから選択)は、各チャンネルごとに設定できます。
チャンネルの設定は下表の通りです。

〈チャンネルスイッチの設定と受信部のチャンネル〉

チャンネルスイッチ	受信部のチャンネル
	チャンネル1
	チャンネル2
	チャンネル3
	チャンネル4

チャンネルスイッチ	受信部のチャンネル
	チャンネル5
	チャンネル6
	チャンネル7
	チャンネル8

※報知音の選択方法は、受信部の取扱説明書を参照してください。

送信ランプについて

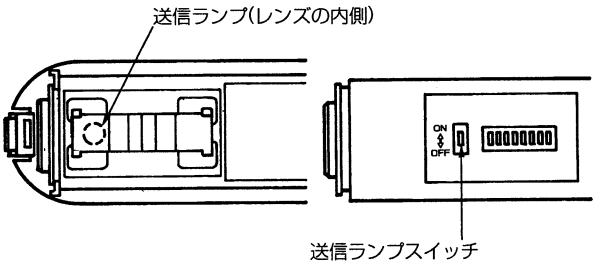
●送信ランプは本体内部にあり、フレネルレンズを通して点滅状態が見られます。

〈送信ランプスイッチがONの場合〉

●センサが検知して送信を開始すると送信ランプが
4回点滅→2.5秒間消灯
となります。

〈送信ランプスイッチがOFFの場合〉

●送信ランプは常に消灯状態です。

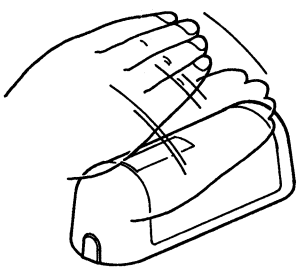


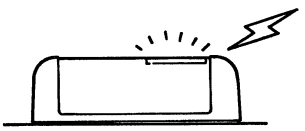
操作方法

この操作は、全ての設定が終了してから**受信部と組み合わせて**行なってください。

①検知動作させる。
（フレネルレンズの前で手をゆっくり振ってみる。）

②電波を送信する。





①検知動作させる。

②電波を送信する。

※送信は、1回の操作で
3秒間送信→2.5秒休止
となります。
この間には検知動作しません。

受信部は本器の信号を受信すると、大形表示ランプが点滅するとともに、設定したチャンネルの表示ランプが点灯し、報知音が鳴ります。
※詳細は受信部の取扱説明書を参照してください。

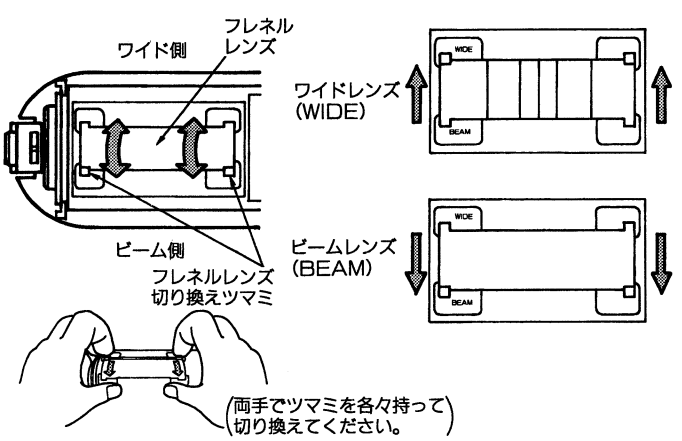
〈注意〉
・本器単独では、検知ランプのチェックしかできません。（本器は鳴動しません。）

検知エリアについて

〈ビーム/ワイドの切り換え〉

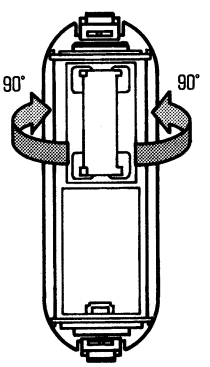
本体のフレネルレンズ切り換えツマミを動かすことにより、検知エリアを切り換えることができます。用途に応じて選択してください。

※出荷時は、ワイド側に設定しています。

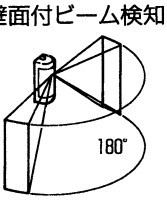


〈検知方向の調整〉

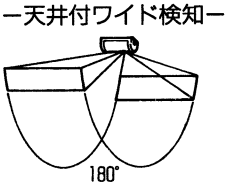
●本体は正面から90°ずつ検知エリアの方向の角度を変えることができます。（右図および下図参照）
※調整後は必ず本体カバーを取り付けてください。



ー壁面付ビーム検知ー



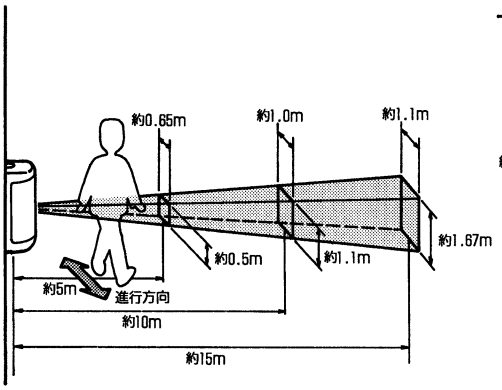
ー天井付ワイド検知ー



〈検知エリア図〉

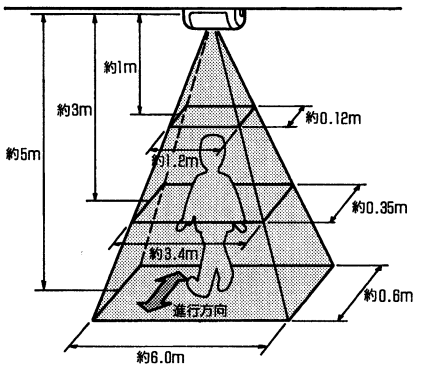
● **下図は、目安です。**取り付ける場所の環境、季節や天候、気温により多少異なります。また、取り付ける前に検知エリア内を人が横断して正常に検知することを、検知ランプで確認してください。

ビーム検知時の目安



※倉庫内、駐車場、庭など**比較的広いエリア**での検知に使用します。

ワイド検知時の目安



※店舗、事務所、倉庫などの出入口や廊下などの**比較的狭いエリア**での検知に使用します。

検知動作の原理

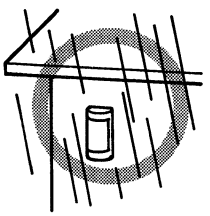
本器のセンサは向けている壁や地面とその間に通る人、車等の温度差を検知しています。センサの特性として、センサから遠ざかるほど検知する角度は広くなりますが、検知しにくくなります。

〔取り付け上の注意〕

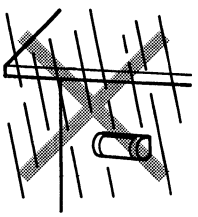
● 雨などが間接的にかかる可能性のある場所への設置は必ず縦長方向(図①)に取り付けてください。横長方向(図②)に取り付けると、内部に雨水が入り故障の原因となります。

● 0.6～1.2m/sのスピードで動く人を検知します。走っている人(図③)やエリア内でじっと静止している人(図④)は検知しません。

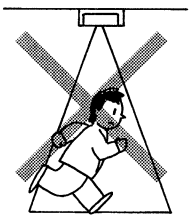
① 縦長方向



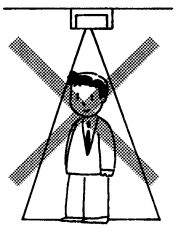
② 横長方向



③ 検知エリア内を走って横切る人



④ 検知エリア内でじっと静止している人

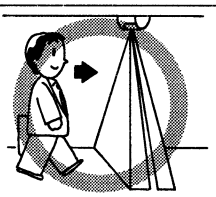


〔フレネルレンズをワイド側にしてワイド検知をする場合〕

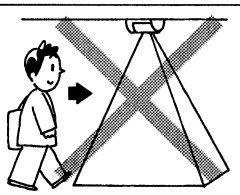
● **天井付けの場合**は、検知エリアが進行方向に対して横方向に広く(図⑤)なるように取り付けてください。横方向に狭い(図⑥)場合は検知感度が悪くなります。

● **壁面付けの場合**は、検知エリアが進行方向に対して、縦方向に長く(図⑦)なるように取り付けてください。縦方向に短い(図⑧)場合は検知感度が悪くなります。

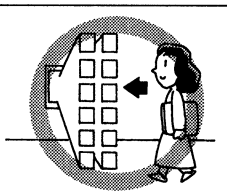
⑤ 検知エリアが横方向に広い



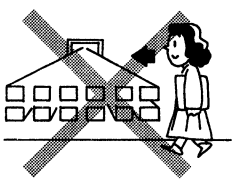
⑥ 検知エリアが横方向に狭い



⑦ 検知エリアが縦方向に長い
(取り付け高さ 70～120cm)



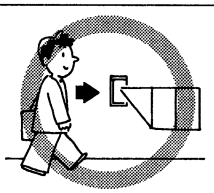
⑧ 検知エリアが縦方向に短い



〔フレネルレンズをビーム側にしてビーム検知をする場合〕

● 壁面や柱など地面と垂直な面に縦長方向(図⑨)に取り付けてください。天井や横方向(図⑩)に取り付けると検知感度が悪くなります。

⑨ 縦長方向に取り付ける。
(取り付け高さ 70～120cm)

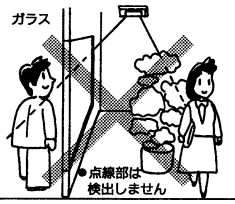


⑩ 横長方向に取り付ける。

※その他、下図のような取り付け方はしないでください。

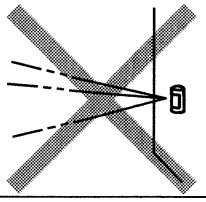
〔検知しない取り付け方〕

● 検知エリア内に障害物がある(植木、ガラスなど)

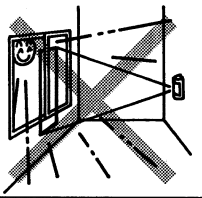


〔誤動作しやすい取り付け方〕

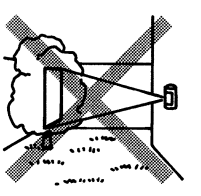
● 背面物がない空間に向いている



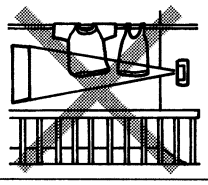
● 検知エリアが窓に向いている



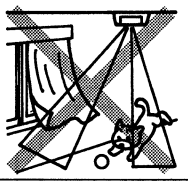
● 検知エリアが木に向いている



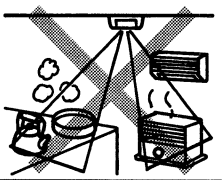
● 検知エリア内に洗濯物がある



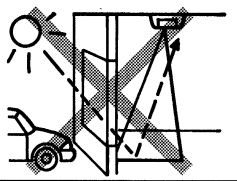
● 検知エリア内に動くものがある
〔カーテン、猫、犬など〕



● 検知エリア内で急激な温度変化がある
〔冷暖房器具、水、湯気、油、すきま風など〕



● 直射光・反射光が当たる
〔太陽の反射光、夜間の自動車のヘッドライトなど〕



3 システムアップ

スーパーワイヤレスシリーズの受信部と本器のシステムに、別売の下記送信部を増設することでより最適な来客・防犯システムを組むことができます。受信部は送信部8台（8チャンネル）まで識別が可能です。送信部9台以上の場合は、1つのチャンネルに2つ以上の送信部を割り当てることになります。

（注）受信部では同一チャンネルの送信部からの信号は受信できますが識別できません。

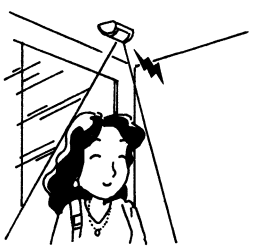
〈送信部〉

品　名	品　番	特　長
ビーム／ワイド検知送信部	SHS-350	熱線式ビーム／ワイド検知
プル式押ボタン送信部	SHS-550	プル／押ボタン兼用
卓上用送信部	SHS-680	卓上形押ボタン
接点入力送信部	SHS-800	マグネットセンサ・外部接点入力

〈受信部〉

品　名	品　番	特　長
受信部	SHS-1000	自動通知(報知音：メロディ12曲、固定メッセージ13種類、録音メッセージから選択)

● **店舗の来客**に SHS-350：チャンネル1
（ワイド検知センサ形／自動来客通知用）

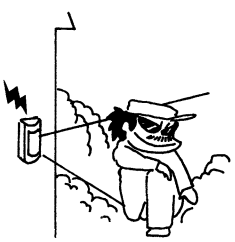


● **トイレに** SHS-550：チャンネル3
（プル式／緊急通報用）

● **受信部** SHS-1000

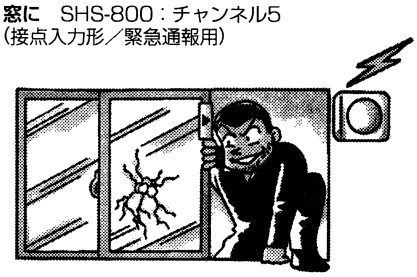
チャンネル1：ピンポン(メロディ)
チャンネル2：不法侵入です。
（固定メッセージ）
チャンネル3：お手洗いから呼び出しです。
（録音メッセージ）
チャンネル4：書斎に来てくれ。
（録音メッセージ）
チャンネル5：不法侵入です。
（固定メッセージ）
※受信部は8台まで送信部の識別が可能
（注）詳細は受信部の取扱説明書を参照してください。

● **裏庭に** SHS-350：チャンネル2
（ビーム検知センサ形／防犯用）



● **書斎に** SHS-680：チャンネル4
（卓上形／呼び出し用）

● **窓に** SHS-800：チャンネル5
（接点入力形／緊急通報用）



4 ご 注 意

- **本器は、単体では使用できません。**必ず別売のスーパーワイヤレス受信部SHS-1000と組み合わせて使用してください。
- **電波の到達距離は、見通しで約100m、屋内到達標準で約40mです。**
  - ・見通しとは……車両の通行量が少なく、周囲の見通しが良好な郊外のような場所で使用した場合の電波の見通し到達距離です。
  - ・屋内到達標準とは……電波の進行を妨害する鉄筋・コンクリート・断熱材等を多用していない木造家屋で使用した場合の電波の見通し到達距離です。

  ただし、この距離は目安です。周囲の環境で変化しますので必ず取り付け前に確認してください。

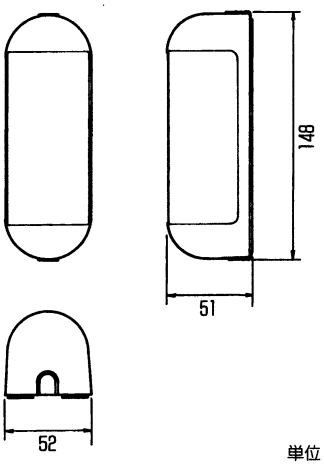
  特に下記のような環境では到達距離が短くなったり、動作しないことがあります。
  - ・取り付ける壁面が鉄板類や鉄骨を使用している。
  - ・取り付ける壁面の内側に鉄板類や鉄骨また断熱材としてアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
  - ・周囲が金属物で囲まれているような場所。(カラオケボックスなど)
  - ・テレビ、ラジオの送信所や無線放送局（ミニFM局、アマチュア無線局など）が近くにある場所。
  - ・テレビ、ラジオ、パソコン、ファクシミリ、コードレス電話、電子レンジ、電波式送信機や受信機（特に、特定小電力無線機器）などの電波（ノイズ）を発生している家電製品やOA機器が近くにある場所。
  - ・近くで携帯電話やPHS使用している場所。
  - ・ハイパワーの違法無線を使用している車が往来する道路に近い場所。
  - ・本器と受信部の間に鉄板類、金網など電波を遮へいするようなものがある場所。

  また、屋内でも本器から送信された電波が壁や天井等に反射したものとまっすぐに飛んだものが交差して電波の弱まる場所があります。そのような場所に受信部を置くと見通しでも届かない場合があります。
- 検知センサは検知エリア内の温度変化を検出する方式ですが、ゆっくりと温度が変化する、または、急激に温度が変化する場合は、検知動作しないことがあります。
- 雨の直接かかる場所や浴室など温度や湿度が高い場所では使用しないでください。
- 軒下のような間接的に雨水がかかる場所では、縦長方向に取り付けてください。横長方向の取り付けをすると内部に水が入り、故障の原因となります。
- 本器と受信部の間に、鉄板類、金網など電波を遮へいするようなものがないことを確認してから取り付けてください。
- 病院など医療施設内や心臓のペースメーカーを使用している方のすぐそばでは使用しないでください。
- 本器に貼付している技術基準適合マーク（㊣マーク）のあるシールをはがしたり、改ざんした場合、また、総務大臣の許可なしで分解や改造した場合は使用を法律で禁止されていますのでそのような行為はしないでください。
- 検知感度は人間の動く早さ、身長、季節または天候により微妙に変わります。
- フレネルレンズを傷付けたり、変形させたりしないでください。またホコリが付着した場合は拭き取ってください。検知感度が低下したり、検知エリアが変化したりします。
- 本器のお手入れ(特にフレネルレンズ)は柔らかい布で空拭きか、中性洗剤を薄めた水に浸した後、固く絞った布で拭き取ってください。ベンジン、シンナーなどの薬品は、表面の変色、変形の原因となります。
- ご使用中に異常が発生した場合は、直ちに電池を抜き取り、購入店へご相談ください。ご自分での点検、修理、改造は行なわないでください。

5 仕　様

品　　名	ビーム／ワイド検知送信部
品　　番	SHS-350
電　　源	DC3V(単3乾電池2本)
消費電流	待機時：50μA以下 動作時：50mA以下(検知ランプ点灯時)
検知センサ	焦電形赤外線センサ
送信周波数	426.125MHz
送信出力	1mW(+20%、−50%)
変調方式	MSK(F2D)
電波到達距離	見通し…約100m、屋内到達標準…約40m
グループID信号	32チャンネル
チャンネル信号	8チャンネル
使用温度範囲	−10〜+60℃
質　　量	115g(電池含まず)
外形寸法	148(H)×52(W)×51(D)mm(右図参照)
設置場所	屋内・軒下
外観材質	本体：ABS、本体カバー：PE
付　　属　　品	取付けネジM3×20…2本　取扱説明書…1部

外形寸法



単位：mm

(仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。)

保証書

この製品は、十分なる信頼性テストをもとに設計、製造され、厳密な検査を経て出荷されたことを証明し、下記の規約により小売店から購入した日から1年間、その品質を保証します。

1. 通常使用により、万一製造上における欠陥が生じた場合は、本保証書により、無償で新品と交換または修理をいたします。ただし、右記の理由またはこれに準ずる理由により生じた故障につきましては本保証書は適用されません。
   - ●取扱上の不注意、誤った使用方法。
   - ●天災・火災等
   - ●お買上げ後の輸送・移動・落下等。
   - ●保存上の不備。
   - ●弊社指定の修理人以外による修理または改造。
   - ●本製品本来の使用目的以外の使用。
2. 使用に伴う部品の消耗には保証は適用されません。
3. 運送料及び梱包料等の諸掛り費用はお客様ご負担とさせていただきます。

※販売店名、ご購入年月日のないものは無効となりますのでご注意ください。

4. 保証期間が切れた後の修理、保証の適用されない故障につきましては、有償で修理いたします。
5. 本保証書は再発行いたしません。

ご購入品名	スーパーワイヤレス　ビーム／ワイド検知送信部　SHS-350
ご購入年月日	
ご住所(〒　　−　　) TEL	お名前
販売店名	故障状況

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代)　東京支社/〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目11番4号 長崎第1ビル3F TEL.(03)3341-4569(代)

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

・札幌支店 TEL.(011)822-1251(代)　・新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代)　・三重営業所 TEL.(059)226-1643(代)　・岡山営業所 TEL.(086)245-2948(代)
・東北支店 TEL.(022)243-2141(代)　・茨城営業所 TEL.(029)826-5341(代)　・金沢支店 TEL.(076)261-9988(代)　・高松営業所 TEL.(087)868-1222(代)
・郡山営業所 TEL.(024)921-7131(代)　・千葉支店 TEL.(043)253-1121(代)　・富山営業所 TEL.(076)422-7878(代)　・松山営業所 TEL.(089)925-3826(代)
・東京西営業所 TEL.(03)3354-8451(代)　・横浜支店 TEL.(045)651-2557(代)　・大阪支店 TEL.(06)6304-5651(代)　・福岡支店 TEL.(092)541-0168(代)
・東京東営業所 TEL.(03)3633-1411(代)　・静岡営業所 TEL.(054)281-0141(代)　・近畿システム営業所 TEL.(06)6304-5658(代)　・北九州営業所 TEL.(093)922-6556(代)
・東京システム事業部 TEL.(03)3341-5282(代)　・浜松営業所 TEL.(053)461-6885(代)　・堺営業所 TEL.(072)278-5311(代)　・大分営業所 TEL.(097)558-7235(代)
・多摩営業所 TEL.(042)770-2931(代)　・中部支店 TEL.(052)771-5106(代)　・京都営業所 TEL.(075)382-6141(代)　・熊本営業所 TEL.(096)325-0711(代)
・埼玉支店 TEL.(048)652-3311(代)　・松本営業所 TEL.(0263)27-7801(代)　・神戸支店 TEL.(078)974-7100(代)　・南九州営業所 TEL.(099)267-8211(代)
・宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100(代)　・岡崎営業所 TEL.(0564)27-1516(代)　・広島支店 TEL.(082)237-5331(代)　・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(代)

(2003年3月現在)

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代)　東京支社/〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目11番4号 長崎第1ビル3F TEL.(03)3341-4569(代)